

コラム風 僕らは社会の中で生きている個人に負わせない

2月19日津久井やまゆり園事件(刺殺19人負傷26人事件2016年 26歳)の最終弁論だった。「…検察側精神鑑定結果は『反社会性、自己愛性、統合失調性の特徴を有するPD(Personality Disorder パーソナリティー障がいだ』とする。反社会性 PDは他人との交流は難しいというが、被告は友人も多く、後輩に慕われた。鑑定は合理性を欠き、信用性に疑問がある。…弁護側証人医師は、被告を大麻精神病、大麻の長期常用による慢性精神病と指摘している。…未曾有の大量殺人で死刑は免れないと普通ならわかるが、逮捕後の釈放を信じていた。自首したのは善悪が判断できていたからではない。被告は当時、ブレーキが壊れ、変な方向にアクセルが入りっぱなしになった状態。自己を制御する能力はなかった。無罪を…」

かつて3つの事件があった。1997年神戸で連続児童殺傷事件(14歳)、近所・知り合い児童5名被害。2001年大阪で無差別殺傷事件(37歳)、小学生児童等23人被害。2008年秋葉原で無差別殺傷事件(25歳)、通行人17人被害。事件動機は違うが、津久井と同様に病理性の視点は共通している。自由と平等の民主社会は法＝人権が基本。年齢と病気と障がい等で責任能力を検証する人権保護は前提。だからこそ僕は事件に起因する社会を問い、被害者と共にありたいとボランティア・NPO・研究所応援団と24年続けている。



2月23日 横須賀子ども若者応援団&子どもフリースペース 撮影:川辺悟史さん

個人(生理的・心理的・思考)を問うのではなく、取り巻く社会環境(成育・教育・人間関係・時代性)に重きを置きたい。21世紀(H12)前後の日本・世界は若者の“生き辛さ”を家庭と教育、労働と社会に散逸し始めていた。新自由主義が人対人の“競争”を生み“不自由”と“差別”で若者を怯えさせ事件を起こすと受け止める。神戸では「学校殺傷」、大阪ではネグレクト背景に「エリートを殺す」、秋葉原では派遣社員・掲示板背景に「負け組」、そして相模原では「生産性がない」と加害者は叫ぶ。その背後では、素直さ(ネグレクト)と成績(エリート)を親は求め、従順(学校殺傷)と結果(エリート)を教師は求め、効率(生産性)と成果(負け組)を上司は求め、社会はお金(エリート)と競争(派遣社員)を求めているのだ。

自己制御からの解放 不登校・ひきこもる寛容と多様性の承認へ

暴言や殺傷への社会的制御が問われている。僕は過日小学生に「止まる勇気」の授業を展開、インクルーシブへの勇気を問うた。1945年世界は国際連合憲章で、私たちは日本国憲法で戦争(暴力)を止める勇気を掲げた。75年後の今、不登校やひきこもる若者は止まる勇気を体現している。生産性に、エリートに、暴言暴力に止まる勇気を実感する。悩みや葛藤に向き合い希望を描く止まる勇気と、寛容と多様性承認社会を実現したい。(滝田衛)

ご案内 5月頃? 「子ども若者応援団(右写真)」が進化します、ご期待ください。ぜひ3月応援団会議に参加いただき、趣旨・運営・財政等お考えを聞かせてください。龍崎・新舂さん等次世代が今後を牽引します、本研究所は一支援団体になります。宜しければ、メーリングリスト登録(無料:龍崎運営)chroma74@gmail.com 願います。



それぞれの風

○2/10 鎌倉 Largo タッキー講座まとめ●定型発達の子と非定型の境が疑問だったが話を聞いて腑に落ちた。●周囲の環境を整えないといけないと感じた。●障がいて何だろうと思う大人の理解が必要と感じた。

●違いがあるのに社会が子ども達を押し込め…学校は行かないといけないところという固定概念あるのだと思った。《右写真:小さな靴たち in Largo》

●滝田「親が苦しんでいるから”子どもも苦しんでいるのでは”と見えてしまう錯覚があると思う。Largoの子を見ていると開放されている。子の多様性が大切では。」

●スタッフ小林由紀さん「精神論では腑に落ちないところを、滝田さんのお話には説得力があり参加者の率直な感想を伺い、それぞれに響かれていたのではないかと感じました。参加者ご自身の課題や現在の状況の整理ができたのではないのでしょうか。テクニックや表面的なことではなく、大人自身が本質を眺めた時に彼らの真実が見えてくるのだらうと改めて感じました。」

○中西佳子さん(2/16 逗子応援団, 1/26 横須賀応援団)感想投稿「昨日は、新舩さん絶好調(左写真)。ラフな雰囲気だと気遣いなく居られ17時前まで歓談されて



ていました(笑)『来月もこのラフさで』と言っていました。横須賀の活動(子どもフリースペース 右下写真)に参加させて頂き光栄です。今後とも宜しくお願いします。小林大真さんに前回初めてお会いしましたが、神様の近く

にいる存在のような方だなーと感じました☆天才の更に高次な所に位置していると言いますか、別格な人ですね。これまで相当お辛い日々を過ごされてきたのかなと察します。時代の先人がゆえの理解してもらえない歯痒さもかなりあるのだと思います。またお会いできるのでしょうか？楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。(2/17)



○小田原市不登校講演会(松井麻実さん+経験者3名+滝田)1/25 感想より《参加57名》

〈小学生〉お話がおもしろかったです。あさみさん(右下写真)のふくが、すごいおしゃれだった。すごい話がきょうかんできた。たのしかったです。〈保護者〉「リアル」を知ることができてよかったです。毎日つらく、苦しく、不安で…という思いしかありませんでしたが、楽しんでみようと思います。〈教職員〉「学校は行かなくてよい」と言いながら(言い聞かせながら)おなしかったので、松井さんのことばに



救われました。〈主任児童委員〉麻実さんの話、周囲が安定していれば子どもは自分で這い上がれる、という言葉が印象的だった。〈行政関係〉いじめ、不登校と縦割りに分担してだけでなく、双方が互いの内容を学んでいく必要があると実感しています。一人一人の子どもやその環境が多様、より柔軟により多くの子が入り出ることができる相談学級が今後求められていることも感じました。〈その他〉何かの実感を具体的にしたわけではありません。でも、今日参加してよかったなあと思いました。まわりの人に優しくできる社会だったらいいなあと思いました。子どもが大人になるのが楽しみな世の中がいいです。※小田原市教委相談室よりいただき感謝♡

3月予定 ○7日(土)13時・17時 横須賀シニア劇団「よっしゃ!!!」『黒船がやってきた』(県共生共創事業会員安川有里さん出演)in 県民共済みらいホール ○8日(日)13:30逗子応援団会議ひきこもり発信プロジェクト:新舩秀浩&ゆずり葉の会:橋本由美子 in 逗子市民交流センター ○16日(月)10:30 タッキー講座第3回「子どもファースト～人間関係」in 鎌倉 Largo ○29日(日)14時:横須賀応援団会議&子どもフリースペース:龍崎明信 in 横須賀市民活動サポートセンター ○研究所:9・16日(月),12・26日(木)

【発行編集:滝田衛】鎌倉市七里ガ浜東2-31-12 携帯:09072124055 ●メール:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp

●研究所 HP: <http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/> ●応援団: <https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>